

事業名	男女共同参画センターにおけるフェスティバルの開催、情報誌の発行
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額(千円)	2,275			決算額(千円)	1,989		
事業の概要・目的	<p>【フェスティバル2015&amp;ネットワーク会議】                  県民に男女共同参画への理解を深めていただくことを目的とした「千葉県男女共同参画センターフェスティバル」と、民間団体と県民の交流・学習の場を提供し、男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めることを目的とした「ネットワーク会議」を併せて開催する。</p> <p>【情報誌】                  情報誌として、「eパートナーちば」を9月末と3月末の年2回(各12,000部)発行する。センター事業や各地域での取り組み等さまざまなテーマを切り口とした内容の情報を広報することで、多くの人に男女共同参画の意識を持つことの重要性を認識してもらい、男女共同参画社会づくりの推進を図る。</p>						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

【フェスティバル2015&ネットワーク会議】  
 午前は、キャスター、千葉大学客員教授の木場弘子さんの講演会(男性36名、女性127名、不明1名 計164名)午後は、ワークショップ(8団体)(男性47名、女性140名 計187名)とネットワーク会議(男性23名、女性86名 計109名)を開催した。  
 【情報誌】  
 「eパートナーちば」を9月末と3月中旬の年2回(各12,000部)発行した。



3 評価

(1) 男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

## (2)改善点等

### 【フェスティバル2015&ネットワーク会議】

チーバくんや学生ボランティアを導入し、子ども連れや若い世代の参加を促進した。今後も若い世代を含めた、あらゆる人が参加しやすくなるよう魅力ある講演会やワークショップの開催等、更なる工夫をしていく。

### 【情報誌】

ニーズに合わせた内容を掲載することにより、あらゆる人への参画を啓発することができた。今後も、より幅広い世代に読んでもらえるように、掲載内容や紙面構成をさらに工夫していく必要がある。

## 4 委員意見

フェスティバルについては、例年の事業として定着していることで評価できるが、県民全体の男女共同参画意識の向上を図るため、男性や幅広い年代の人が参加できる行事となるよう工夫していただきたい。そのためには参加者の性別、年齢層等の詳細を把握することが必要。若年層の参加を増やすため、若い人が興味を持てるような講演会を、目玉となるようなワークショップと連動して実施してはどうか。行事の周知に当たっては、市町村の広報紙等の更なる活用を検討願いたい。

なお、情報誌については、読者の反応も把握して、県民が求めていることを先取りした内容とするとともに、ホームページを活用することで読者を増やして欲しい。

事業名	各種講座・研修会の開催
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額(千円)	1,034			決算額(千円)	658		
事業の概要・目的	男女共同参画社会の実現を目指し、県民意識の醸成や人材の養成を図るため、県民ニーズに対応した各種講座を企画運営する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

【男女共同参画シンポジウム】内閣府男女共同参画週間関連事業として実施  
 少子化ジャーナリストの白河桃子さんによる講演会と、「私らしいワーク・ライフ・バランス」をテーマにパネルディスカッションを行った。(男性23名、女性43名 計66名)

【関係機関と連携した専門講座】  
 ○千葉大学と共催し、美術鑑賞を題材に「考え方」の違いを体感し、多様な視点があることを知るきっかけづくりを目的としたワークショップを行った。(男性16名、女性47名 計63名)  
 ○千葉県社会福祉協議会、千葉県民生委員児童委員協議会と連携して、夫婦関係・離婚等をめぐる問題について、弁護士による講演会や事例紹介を行った。(男性29名、女性279名 計308名)

【女性リーダー養成講座】  
 地域活動の場などにおいて、リーダーとして活躍する人材育成を目的として講座を行った。(全4回)  
 (男性4名、女性36名 計40名)

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

## (2)改善点等

### <改善した点>

本県の男女共同参画施策の推進拠点である男女共同参画センターの学習研修事業を、高度・専門化するため、関係機関との連携した専門講座を充実させるとともに、「女性リーダー養成講座」は意欲のある女性に受講してもらえるよう修了要件を緩和した。

### <今後改善すべき点>

各種講座の参加者を更に増やすため、今後も講座内容や開催日等の見直し、広報の方法等を工夫する必要がある。

## 4 委員意見

参加者が少ない講座があり、広報を工夫するとともに、開催場所についても検討してもらいたい。

「女性リーダー養成講座」については、受講対象者が不明確。市町村による受講者の推薦方法や講義の内容については改善されている。講座の修了生の活用方法も検討して欲しい。

「女性についての法律講座」は、単年度で終わりにせず、テーマを変えて継続していただきたい。連続して受講した方に特典等があればより受講しやすいのではないかな。

「男女共同参画シンポジウム」は、テーマ、内容、ともに良かった。今後、企業経営者の視点からの女性活用についての講演なども企画してもらいたい。

男女共同参画の切り口は幅広く、大学や様々な分野の専門家と連携した講座をより充実させて欲しい。内容も聴く、話すだけでなく、感じる等の多様性のある講座を企画していただきたい。

事業名	ホームページ、メールマガジン等による情報発信
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額(千円)	0			決算額(千円)	0		
事業の概要・目的	「ちばの男女共同参画情報マガジン」を毎月2回発行する。また市町村が開催するイベント等を県のホームページに掲載する。						
数値目標など							
指標名等	メールマガジン配信回数						
目標	月2回発行	実績	月2回発行				

2 事業の実施結果

登録者約1,300人に対し、メールマガジンを月2回発行した。
--------------------------------

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
	3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
	★視点2 受益の公平性			
実施結果・効果	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか		
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか		
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	性差を認識し、相互の理解を促進させる新聞のコラム等を掲載した。	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	ワーク・ライフ・バランスに関するイベントやニュース等を掲載した。	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか			

(2)改善点等

<p>&lt;改善した点&gt; 千葉県内における男女共同参画に関する記事の掲載を増やす等、記事の充実を図った。</p> <p>&lt;課題・今後改善すべき点&gt; 男女共同参画に関する情報を周知するために、ニュースの掲載の拡充等、読者の数を増やす取組が必要である。</p>
--

4 委員意見

<p>男女共同参画に関する情報誌として、登録者も増加しており評価できる。 性別・年代別等のデータを取り、読者層に合わせて、写真やイラストを入れるなど、読者が興味を持つ内容にして欲しい。</p>
--

事業名	関係機関等が行う研修会等の取組に対する支援
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額(千円)	0			決算額(千円)	0		
事業の概要・目的	男女共同参画について理解を深めるため、県職員・教職員に対する研修をはじめ、市町村や企業、各種団体などの依頼により、県職員を講師として派遣する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

市町村や教育庁などから研究講師派遣の依頼を受け、当課職員を講師として派遣した。のべ5回、女性169名、男性44名に対し、男女共同参画についての講義を実施した。事後アンケートでは、『男性と女性が互いの意見を尊重し、固定的役割分担意識を変えていきたいと思う。』『「男だから」「女だから」という考えをなくし、お互いが得意なことで力を発揮できるように協力する。』等の感想が出された。

3 評価

(1) 男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
	3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
	★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明	
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか			
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○		
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○		
実施結果・効果	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか			

(2) 改善点等

<改善した点>  
 講義で使用するデータについては、常に最新のデータに更新するとともに、受講対象者の実態に合わせた講義(クイズ形式、新聞記事の紹介)を心がけた。

<課題・今後改善すべき点>  
 事後アンケートから受講者のニーズ等を分析し、常に最新の情報を追加する必要がある。また、本事業の広報にも力を入れていく必要がある。

4 委員意見

男女共同参画意識の高揚に不可欠の事業であり、広報を積極的に行っていただきたい。また、過去の研修のアンケート結果等を生かし、テーマも提案していただきたい。  
 なお、受講者は女性が圧倒的に多くなっているため、男性を増やすことを目指して欲しい。

事業名	あらゆる人々への意識啓発の展開
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額(千円)	432			決算額(千円)	351		
事業の概要・目的	女性だけでなく、男性、高齢者、若者、子ども等の視点からも男女共同参画を捉え、誰もが暮らしやすい地域づくりの取組を促進するため、市町村との共催により、家庭生活や地域活動等における男女共同参画の促進をテーマとした講演会等の開催。男女共同参画及びDV基本計画を未策定の市町村において、男女共同参画啓発及びDV防止用パネル貸出を行い、住民意識の向上を図るとともに、市町村における男女共同参画施策の推進を支援する。						
数値目標など							
指標名等	講演会開催回数						
目標	2箇所	実績	2箇所				

2 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画未策定の町において、住民を対象とした講演会を実施。(多古町・大多喜町)</li> <li>①多古町：「女もイキイキ男もイキイキ～講談とで語る男女共同参画社会」</li> <li>②大多喜町：「楽しく快互(かいご)のすすめ」</li> <li>・市町村へのパネルの貸出</li> </ul> 睦沢町、多古町、松戸市、大多喜町、九十九里町、大網白里市、茂原市(7市町8回)
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
実施結果・効果	3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか			
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか			

(2)改善点等

<改善した点> 地域における男女共同参画施策の推進を支援するため、男女共同参画啓発及びDV防止用パネルを作成し、市町村へ貸出事業を始めた。また、男女共同参画週間事業としてそごう千葉店への展示を行った。
<課題・今後改善すべき点> 住民の意識向上を図るため、市町村に対し、貸出事業を周知する必要がある。

4 委員意見

講演会事業は27年度で終了するが、啓発用パネルの貸し出しなど、今後も地道な啓発を継続していただきたい。 県内市町村における男女共同参画計画の策定を促進するため、未策定市町村に向けた広報、周知等に努力して欲しい。
--



事業名	男女共同参画センターにおける相談事業の実施
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	2
当初予算額(千円)	19,719			決算額(千円)	18,622		
事業の概要・目的	一人ひとりがそれぞれ自立し、自分らしく生きていけるように、女性及び男性の総合相談窓口として一般相談及び専門相談を実施する。また、配偶者暴力相談支援センターとして、DV被害女性の相談・カウンセリングに応じる。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

相談総件数は、7,306件(うちDV相談件数1,233件)あった。平成26年度の件数(総件数6,542件、DV件数1,234件)と比較すると総件数は増加し、DV相談件数は横ばいである。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
	3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
	★視点2 受益の公平性			
実施結果・効果	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか			
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか			
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか			

(2)改善点等

<改善した点>  
 経験の短い相談員を中心に、DV相談に関する研修等各種研修への参加を促し、相談員のスキル向上を図った。  
 <課題・今後改善すべき点>  
 DV相談件数が増加傾向にあることもあり、今後ともDV相談への適切な対応及び各種機関との連携を図る。また、引き続き研修等で相談員の専門性を高める。

4 委員意見

相談件数については、実態を正確に把握するため、総件数だけではなく実件数(同一人の複数回の相談は1回と数える)の把握が必要。相談内容をデータ化することで、その生の声を、講座の実施や施策にも反映して欲しい。  
 なお、将来的には、ワンストップ支援の体制構築についても検討していただきたい。



事業名	男女共同参画苦情処理制度の活用
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	2
当初予算額(千円)	179			決算額(千円)	24		
事業の概要・目的	男女共同参画社会基本法等の趣旨に則り、男女共同参画に関する県の施策について、県民等から苦情の申出があった場合、千葉県男女共同参画苦情処理委員が公正・中立な立場から調査を行い、適切かつ迅速に処理する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

27年度については申し出がなかった。

3 評価

(1) 男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
実施結果・効果	3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献				
No.	チェック項目	チェック	説明	
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか			
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか			
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか			

(2) 改善点等

<課題・今後改善すべき点>  
 事業の内容について、一層の周知を図ることが必要である。各種会議等でパンフレットを配布するなど、制度の広報に努める。

4 委員意見

当制度の利用が長年にわたって無い状況である。  
 利用についてわかりやすく周知する方法を工夫することが必要である。

事業名	千葉県男女共同参画推進連携会議の充実
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	3
当初予算額(千円)	460			決算額(千円)	289		
事業の概要・目的	県と連携しながら民間における男女共同参画の自主的な取組を推進することを目的に、産業・地域・教育分野における県域組織で構成された男女共同参画推進連携会議により、県と団体・団体相互の意見・情報交換や研修会、講演会等を開催するとともに、団体及び参加団体へ幅広く働きかけを行う。						
数値目標など							
指標名等	—						
目標	全体会 1回 合同部会 1回 各部会 4回	実績	全体会 1回 合同部会 1回 各部会 4回				

2 事業の実施結果

地域コミュニティや女性の活躍推進、男性の育児参画等をテーマとして、全体会1回、産業部会2回、地域部会1回、教育部会1回、地域・教育合同部会1回を開催した。  
各専門部会終了後、部会ごとに課題や解決策等の情報交換会を実施した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
	3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
	★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明	
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○		
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○		
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○		
実施結果・効果	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか		
	9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

<改善した点>  
各部会が必要と感じている、「女性の活躍、登用促進」「地域で子育て」「男性・子どもにとっての男女共同参画」「防災分野における男女共同参画」等をテーマとして、取り上げ、加入団体の更なる意識啓発を図った。  
<課題・今後改善すべき点>  
各部会の参加者が少ない等、課題があるので、早めに企画をして、広報の期間を確保するように改善していく。また、加入団体を訪問して、参加を呼びかけるなど積極的に周知を行う。

4 委員意見

加入団体側からの提案に基づき共催事業を実施するなど、加入団体の自主的な活動もあり一定の成果が上がっていると評価できる。今後も加入団体の増加を図るなど、連携会議の一層の充実を図っていただきたい。  
なお、参加者が少ない部会があることは残念である。周知方法に関しては、誰もが参加しやすい工夫が求められる。

事業名	千葉県男女共同参画社会づくりネットワーク会議の充実
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	3
当初予算額(千円)	0			決算額(千円)	0		
事業の概要・目的	県内の男女共同参画社会を目指す各団体の組織力を高め、異分野で活動する団体が、協力し合いながら、男女共同参画社会づくりに関わる団体間のネットワークを構築する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

男女共同参画センターフェスティバル2015&ネットワーク会議 実施日：平成27年8月2日(日) フェスティバルと同時開催とし、ワークショップ出展団体から実施結果を発表した後、フェスティバルのテーマ(「自分らしさ」を大切に!)について意見交換を行い、民間団体と県民の交流を図った。 コーディネーター：西山恵美子さん(独)国立女性教育会館客員研究員 参加者：109名(男性23名、女性86名)
--

3 評価

(1) 男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
	3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
	★視点2 受益の公平性			
実施結果・効果	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか		
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか			
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか			
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか			

(2) 改善点等

<改善した点> フェスティバルと同時開催とし4年目となり参加者も定着しつつある。(H27年度109名、H26年度85名、H25年度84名、H24年度63名)また、センターフェスティバル全体のテーマを中心に意見交換を行ったことで、方向性がはっきりし充実した意見交換ができた。参加した大学生の発表もあり、幅広い世代の方々に参加してもらうことができた。
--

4 委員意見

参加者も増加しており、相応の効果があったものと思われる。事業の活性化を図るため、男女共同参画センターフェスティバルと同時開催としたことは評価できる。 効果がすぐに見える事業ではないが、参加者が更に増加するよう、今後も工夫をしていって欲しい。
---

事業名	千葉県男女共同参画地域推進員制度の充実
担当課	男女共同参画課(男女共同参画センター)

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	3
当初予算額(千円)	1,934			決算額(千円)	1,551		
事業の概要・目的	本県における男女共同参画への取組状況や課題は地域によって異なることから、男女共同参画社会づくりを効果的に推進するためには、それぞれの地域特性を踏まえた取組が不可欠であるため、地域における県民や行政とのパイプ役となり、地域に根ざした活動を行う「男女共同参画地域推進員(以下、「推進員」という。))」を、各市町村から推薦を受けて知事が委嘱することにより、県民、市町村、県が一体となった男女共同参画の推進を目指す。						
数値目標など							
指標名等	千葉県男女共同参画地域推進員設置市町村数						
目標	全市町村	実績	43市町村				

2 事業の実施結果

平成27年度末には、43市町村、69名の推進員を委嘱している。 【活動内容】 県内6地域で推進員の企画によるフォーラム等を実施(14事業 参加者数1,551名)
---

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか(防災・健康分野に係るもの)		
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

<改善した点> 「幼稚園出前講座」や「中学校出前講座」、「落語と寸劇による講演」など幅広い世代をターゲットにした取組により有効な意識啓発ができた。 <課題・今後改善すべき点> 市町村からの推薦をもとに地域推進員を委嘱しているところであるが、H28.3.31現在、11市町において地域推進員が未設置である。 また、中高年の女性が多く、若年代や男性が少ないため、地域推進員未設置市町に対し、あらゆる機会を通して積極的な推薦を依頼していくことが必要である。
---

4 委員意見

男女共同参画社会の実現のために重要な事業である。地域ごとに工夫した事業が展開されていることは評価できる。県としても活発な事業が展開できるよう支えていただきたい。 11市町では、地域推進員が未設置なので、不在市町村への働きかけを継続し、早期に不在を無くして欲しい。
--